

水道事業会計

1 令和4年度 熱海市水道事業決算のあらまし

(1) 事業概要（金額は税抜表示です。）

令和4年度の水道事業は、経営の安定を図ることを念頭に、給水に必要な施設の改築更新等に重点をおきました。

まず、収益的収入の営業収益のうち水道料金については、当初予算の算定にあたり給水栓数 18,878 栓、有収水量 8,478,000 m³、水道料金 1,583,878,000 円を計上しましたが、決算では 18,854 栓、8,424,002 m³、1,597,398,842 円となり、前年度比 74,624,136 円の増収となりました。その他営業収益等を含めた営業収益は前年度比 71,414,781 円増収の 1,607,051,949 円となりました。営業外収益については、一般会計からの補助金の減収により、前年度比 18,902,709 円減収の 133,681,229 円となりました。これに、特別利益 594,791 円を含めた収益的収入の決算額は、前年度比 50,963,596 円増収の 1,741,327,969 円となりました。

収益的支出のうち営業費用は、前年度に比べ動力費等が増額したものの、受水費等が減額したため、前年度比 18,660,095 円減額の 1,599,582,126 円となりました。営業外費用は、前年度比 696,422 円増額の 63,155,735 円となりました。これに、特別損失 168,400 円を含めた収益的支出の決算額は、前年度比 27,037,891 円減額の 1,662,906,261 円となりました。

この結果、本年度の収益的収支については、営業利益 7,469,823 円(対前年度比 109.0%増)、経常利益 77,995,317 円となり、令和4年度は特別利益及び特別損失を差し引いた当年度純利益は 78,421,708 円となりました。

次に、資本的収入については、前年度に比べ他会計からの負担金、出資金、国庫支出金が増収となりましたが、企業債等が減収となったため、資本的収入の決算額は、前年度比 65,881,928 円減収の 764,043,072 円となりました。

資本的支出のうち建設改良費については、水の安定供給を図るため、老朽化に伴う送配水管の布設及び布設替工事 16 件(配管延長 7,483.40m)、原水浄水設備工事 4 件、その他機械装置工事 9 件等を実施し、合計は 1,148,622,343 円となりました。これに施設費及び企業債償還金を含めた資本的支出の決算額は、前年度比 210,297,957 円増額の 1,357,514,328 円となりました。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額については、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金取崩額及び損益勘定留保資金で補填しました。

以上が本年度の決算概要ですが、電気料金等の経常費用や工事資材の高騰、給水人口の減少や使用者の節水志向等により有収水量の減少が懸念されることから、より一層の経営合理化を推進し、水の安定供給のために送配水管の布設替や老朽施設の改築更新等必要な施設の改修を行ってまいります。

(2) 収入と支出の執行状況(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(税込)

ア 収益的収入及び支出(現有各施設の維持管理に必要な収入・支出)

(単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	決算額	執行率	科 目	予算額	決算額	執行率
水道料金	1,748,265	1,757,003	100.5%	人件費	106,496	105,730	99.3%
受託工事収益	1,286	1,674	130.2%	動力費	68,138	68,051	99.9%
加 入 金	3,247	4,363	134.4%	修繕費	28,183	24,517	87.0%
一般会計からの補助金	3,800	3,695	97.2%	委託料	210,632	205,111	97.4%
長期前受金戻入	111,700	111,821	100.1%	受水費	787,004	779,336	99.0%
その他収入	65,112	73,129	112.3%	減価償却費	457,798	454,922	99.4%
				支払利息	63,183	63,156	100.0%
				その他経費	80,499	61,977	77.0%
合 計	1,933,410	1,951,685	100.9%	合 計	1,801,933	1,762,800	97.8%

予算額収支差引 131,477 千円

決算額収支差引 188,885 千円

イ 資本的収入及び支出(各施設の更新及び改良等の支出額・充当財源)

(単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	決算額	執行率	科 目	予算額	決算額	執行率
企業債	506,700	356,200	70.3%	人件費	44,959	43,295	96.3%
固定資産売却代金	2	0	0.0%	工事費	1,257,914	1,203,385	95.7%
工事負担金	16,501	14,923	90.4%	委託料	30,000	7,810	26.0%
一般会計からの出資金	237,822	237,822	100.0%	固定資産購入費	5,390	439	8.1%
国庫補助金	144,695	156,455	108.1%	企業債償還金	208,470	208,469	99.9%
県補助金	0	0	-	その他経費	6,669	4,397	65.9%
合 計	905,720	765,400	84.5%	合 計	1,553,402	1,467,795	94.5%

決算額収支差引 △ 702,395 千円

資本的収支差引は、下記財源により補填した。

補 填 財 源	702,395 千円
ア 消費税及び地方消費税資本的収支調整額	108,924 千円
イ 減債積立金取崩額	208,469 千円
ウ 損益勘定留保資金	385,002 千円

(3) 財産の状況 (水道事業会計)

税抜 (単位:千円)

資産の部		負債・資本の部	
固定資産	91.6%	固定負債	36.0%
土地・建物・構築物等	15,336,921		6,019,158
		企業債	5,902,041
		引当金	117,117
流動資産	8.4%	流動負債	3.3%
	1,398,456		544,881
現金預金	1,260,670	一時借入金	0
未収金	120,659	企業債	222,578
貯蔵品	17,127	未払金	275,513
		引当金	34,225
		その他流動負債	12,565
		繰延収益	19.1%
			3,202,227
		資本金	35.9%
			6,009,801
		剰余金	5.7%
			959,310
		資本剰余金	145,542
		利益剰余金	813,768
合計	100.0%		100.0%
	16,735,377		16,735,377
		合計	

(令和5年3月31日現在)

2 令和5年度水道事業会計上半期の状況

(1) 収入と支出の執行状況(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで) (税込)

ア 収益的収入及び支出(現有各施設の維持管理に必要な収入・支出) (単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	執行額	執行率	科 目	予算額	執行額	執行率
水道料金	1,775,072	875,020	49.3%	人件費	112,527	43,442	38.6%
受託工事収益	1,175	1,034	88.0%	委託料	227,107	70,300	31.0%
加 入 金	4,114	3,328	80.9%	修繕費	93,111	20,594	22.1%
一般会計からの補助金	5,654	0	0.0%	動力費	75,804	26,626	35.1%
長期前受金戻入	108,087	0	0.0%	受水費	772,597	319,189	41.3%
その他収入	145,918	7,351	5.0%	減価償却費	481,077	0	0.0%
				支払利息	67,758	32,329	47.7%
				その他経費	77,639	12,562	16.2%
合 計	2,040,020	886,733	43.5%	合 計	1,907,620	525,042	27.5%

イ 資本的収入及び支出(各施設の更新及び改良等の支出額・充当財源) (単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	執行額	執行率	科 目	予算額	執行額	執行率
企業債	860,000	0	0.0%	人件費	49,602	19,765	39.8%
一般会計からの出資金	27,339	0	0.0%	委託料	58,313	0	0.0%
国庫補助金	300,500	0	0.0%	工事費	1,498,704	42,944	2.9%
その他収入	18,803	461	2.5%	固定資産購入費	9,341	1,452	15.5%
				企業債償還金	222,578	110,848	49.8%
				その他経費	6,785	532	7.8%
合 計	1,206,642	461	0.0%	合 計	1,845,323	175,541	9.5%

地方公営企業法第26条の規定による前年度繰越額80,000千円(修繕費4,903千円、工事費75,097千円)を含みます。

温泉事業会計

1 令和4年度 熱海市温泉事業決算のあらまし

(1) 事業概要(金額は税抜表示です。)

令和4年度の温泉事業は、経営の安定を図ることを念頭に、給湯に必要な施設の改築更新に重点をおきました。

まず、収益的収入の営業収益のうち温泉供給料金については、当初予算の算定にあたり、給湯件数 1,276 件、有収湯量 427,000 m³、温泉供給料金 378,343,000 円を計上しましたが、決算では 1,254 件、445,118 m³、391,656,416 円となり、前年度比 9,964,242 円の増収となりました。その他営業収益等を含めた営業収益は、前年度比 11,680,560 円増収の 407,338,419 円となりました。営業外収益については、供給加入金等の減収により、前年度比 22,842,804 円減収の 17,790,324 円となりました。この結果、収益的収入の決算額は、前年度比 11,162,244 円減収の 425,128,743 円となりました。

収益的支出のうち営業費用は、前年度に比べ、動力費等の増額等により前年度比 25,268,613 円増額の 373,179,364 円となりました。営業外費用は、前年度比 349,892 円減額の 1,297,941 円となりました。なお、特別損失の 274,277 円を含めた収益的支出の決算額は、前年度比 25,192,998 円増額の 374,751,582 円となりました。

この結果、本年度の収益的収支は、営業利益 34,159,055 円(対前年度比 28.5%減)、経常利益 50,651,438 円(対前年度比 41.6%減)となり、特別利益及び特別損失を差し引いた当年度純利益は 50,377,161 円(対前年度比 41.9%減)となりました。

次に、資本的収入については、企業債が増収となり、資本的収入の決算額は、前年度比 40,000,000 円増収の 50,000,000 円となりました。

資本的支出のうち建設改良費については、温泉受給者への安定供給を図るため、施設の老朽化に伴う送配湯管の布設替工事等 5 件(配管延長 942.10m)、温泉源地改修工事 10 件等を実施し、合計額は 146,909,977 円となりました。これに施設費及び企業債償還金を含めた資本的支出の決算額は、前年度比 53,487,160 円増額の 216,317,577 円となりました。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額については、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金取崩額及び損益勘定留保資金で補填しました。

以上が本年度の決算概要ですが、今後は、電気料金等の経常費用や工事資材の高騰、給湯件数の減少が懸念されることから、より一層の経営合理化を推進し、温泉の安定供給のために送配湯管の布設替等必要な施設の改修を行ってまいります。

(2) 収入と支出の執行状況(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(税込)

ア 収益的収入及び支出(現有各施設の維持管理に必要な収入・支出)

(単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	決算額	執行率	科 目	予算額	決算額	執行率
温泉供給料金	421,177	430,816	102.3%	人 件 費	11,235	7,601	67.7%
受託工事収益	105	877	835.2%	燃 料 費	26,558	19,382	73.0%
分担経費収入	11,480	9,764	85.1%	委 託 料	106,205	102,641	96.6%
供給加入金	473	6,776	1432.6%	修 繕 費	23,849	23,039	96.6%
一般会計からの 補助金	11,237	7,537	67.1%	動 力 費	62,000	59,411	95.8%
長期前受金戻入	2,887	2,888	100.0%	材 料 費	57,210	52,203	91.2%
その他収入	8,435	9,725	115.3%	減 価 償 却 費	75,642	72,889	96.4%
				支 払 利 息	1,373	1,298	94.5%
				引 当 金	1,095	1,094	99.9%
				そ の 他 経 費	62,929	57,875	92.0%
合 計	455,794	468,383	102.8%	合 計	428,096	397,433	92.8%

予算額収支差引 27,698 千円

決算額収支差引 70,950 千円

イ 資本的収入及び支出(各施設の更新及び改良等の支出額・充当財源)

(単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	決算額	執行率	科 目	予算額	決算額	執行率
企 業 債	50,000	50,000	100.0%	人 件 費	17,118	16,621	97.1%
固 定 資 産 売 却 代 金	2	0	0.0%	工 事 費	169,380	140,464	82.9%
工 事 負 担 金	1	0	0.0%	企 業 債 償 還 金	50,670	50,670	100.0%
				そ の 他 経 費	34,948	23,271	66.6%
合 計	50,003	50,000	100.0%	合 計	272,116	231,026	84.9%

決算額収支差引 △ 181,026 千円

資本的収支差引は、下記財源により補填した。

補 填 財 源	181,026 千円
ア 消費税及び地方消費税資本的収支調整額	14,708 千円
イ 減債積立金取崩額	50,670 千円
ウ 損益勘定留保資金	115,648 千円

(3) 財産の状況(温泉事業会計)

税抜 (単位:千円)

資産の部		負債・資本の部	
固定資産	75.2%	固定負債	12.1%
土地・建物・温泉施設等	1,607,903		259,207
		企業債	220,700
		引当金	38,507
流動資産	24.8%	流動負債	3.6%
	529,413		76,843
現金預金	484,280	企業債	45,900
未収金	29,661	未払金	28,543
貯蔵品	15,472	引当金	2,019
		その他流動負債	381
		繰延収益	3.2%
			68,591
		資本金	70.7%
			1,510,734
		剰余金	10.4%
			221,941
		資本剰余金	6,635
		利益剰余金	215,306
合計	100.0%		100.0%
	2,137,316		2,137,316
		合計	

(令和5年3月31日現在)

2 令和5年度温泉事業会計上半期の状況

(1) 収入と支出の執行状況(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで) (税込)

ア 収益的収入及び支出(現有各施設の維持管理に必要な収入・支出) (単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	決算額	執行率	科 目	予算額	決算額	執行率
温泉供給料金	438,749	212,035	48.3%	人 件 費	15,158	1,895	12.5%
受託工事収益	360	239	66.4%	燃 料 費	34,195	6,235	18.2%
分担経費収入	10,158	2,734	26.9%	委 託 料	99,331	36,741	37.0%
供給加入金	2,365	3,311	140.0%	修 繕 費	24,850	6,726	27.1%
一般会計からの補助金	2,434	0	0.0%	動 力 費	73,700	19,456	26.4%
長期前受金戻入	2,887	0	0.0%	材 料 費	57,250	27,521	48.1%
その他収入	13,173	4,092	31.1%	減価償却費	83,024	0	0.0%
				支 払 利 息	1,976	1,235	62.5%
				引 当 金	1,403	0	0.0%
				その他経費	54,913	20,785	37.9%
合 計	470,126	222,411	47.3%	合 計	445,800	120,594	27.1%

イ 資本的収入及び支出(各施設の更新及び改良等の支出額・充当財源) (単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	決算額	執行率	科 目	予算額	決算額	執行率
企 業 債	60,000	0	0.0%	人 件 費	18,532	7,633	41.2%
工事負担金	1	0	0.0%	工 事 費	188,318	25,309	13.4%
その他収入	2	400	20000.0%	企業債償還金	45,900	22,950	50.0%
				その他経費	54,401	12,871	23.7%
合 計	60,003	400	0.7%	合 計	307,151	68,763	22.4%

地方公営企業法第26条の規定による前年度繰越額32,034千円(委託料8,716千円、工事費23,318千円)を含みます。

下水道事業会計

1 令和4年度 熱海市下水道事業決算のあらまし

(1) 事業概要(金額は税抜表示です。)

令和4年度の下水道事業は、経営の安定化を図ることを最重要課題とし、公共下水道への接続促進や経費の削減等経営改善に重点をおき実施しました。

まず、収益的収入の営業収益のうち下水道使用料については、当初予算の算定にあたり、接続件数 9,930 件、有収汚水量 6,022,000 m³、下水道収益 1,118,944,000 円を計上しましたが、決算では 9,781 件、6,403,106 m³、1,082,443,025 円となり、前年度比 61,013,265 円の増収となりました。その他営業収益を含めた営業収益は、前年度比 57,794,524 円増収の 1,102,306,391 円となりました。営業外収益については、他会計からの補助金等の増収により前年度比 10,695,721 円増収の 769,227,392 円となりました。これに特別利益 425,744 円を含めた収益的収入の決算額は、前年度比 68,915,989 円増収の 1,871,959,527 円となりました。

収益的支出のうち営業費用は、前年度に比べ委託料、手数料、修繕費等の増額により、前年度比 16,325,401 円増額の 1,376,680,830 円となりました。営業外費用は支払利息等の減額により、前年度比 16,799,915 円減額の 102,429,343 円となりました。これに特別損失 178,225 円を含めた収益的支出の決算額は、前年度比 7,702,112 円減額の 1,479,288,398 円となりました。

この結果、本年度の収益的収支は営業損失 274,374,439 円(対前年度比 13.1%減)、経常利益 392,423,610 円(対前年度比 21.3%増)となり、特別損失を差し引いた当年度純利益は 392,671,129 円(対前年度比 24.2%増)となりました。

次に資本的収入については、企業債、国庫補助金等の減収により決算額は前年度 133,346,105 円減収の 518,304,147 円となりました。

資本的支出のうち建設改良費については、管渠布設工事等熱海処理区 38 件、浄水管理センター更新工事等を実施し合計額は 241,687,817 円となりました。これに企業債償還金及び長期借入金償還金を含めた資本的支出の決算額は、前年度比 93,766,141 円減額の 1,231,063,585 円となりました。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額については、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金取崩額及び損益勘定留保資金で補填しました。

以上が本年度の決算概要であるが、今年度は 392,671,129 円の当年度純利益を計上したものの、処理区域内人口の減少や節水志向による有収汚水量の減少が懸念されることから、なお一層の事務の効率化による経費節減を進めるとともに、普及促進を図ることにより収益を上げ、安定した経営を目指すものです。今後も、財政計画を基に加入効率の高い地区の事業を優先し下水道普及率の向上を図り、老朽施設の設備更新を行っていきます。

(2) 収入と支出の執行状況(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) (税込)

ア 収益的収入及び支出(現有各施設の維持管理に必要な収入・支出) (単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	決算額	執行率	科 目	予算額	決算額	執行率
下水道使用料	1,124,944	1,190,651	105.8%	人 件 費	57,668	50,444	87.5%
一般会計からの補助金	371,002	367,312	99.0%	委 託 料	420,208	394,327	93.8%
長期前受金戻入	395,299	400,703	101.4%	手 数 料	43,265	38,404	88.8%
一般会計からの負担金	32,348	21,254	65.7%	修 繕 費	52,402	27,191	51.9%
その他収入	1,326	2,257	170.2%	補助交付金	1,980	346	17.5%
				減価償却費	890,061	889,872	100.0%
				固定資産除却費	24,414	3,853	15.8%
				支払利息	106,592	102,429	96.1%
				その他経費	76,591	68,436	89.4%
合 計	1,924,919	1,982,177	103.0%	合 計	1,673,181	1,575,302	94.2%

予算額収支差引 251,738 千円

決算額収支差引 406,875 千円

イ 資本的収入及び支出(各施設の新設、拡張及び改良等の支出額・充当財源)(単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	決算額	執行率	科 目	予算額	決算額	執行率
企業債	211,500	121,300	57.4%	人 件 費	19,505	11,387	58.4%
一般会計からの負担金	6,972	534	7.7%	委 託 料	146,536	78,578	53.6%
一般会計からの出資金	300,000	300,000	100.0%	工 事 費	180,177	172,639	95.8%
国庫補助金	125,935	87,949	69.8%	負 担 金	7,439	716	9.6%
受益者負担金	2,318	1,750	75.5%	企業債償還金	693,286	689,376	99.4%
その他収入	7,061	6,820	96.6%	長期借入金償還金	300,000	300,000	100.0%
				その他経費	6,350	1,395	22.0%
合 計	653,786	518,353	79.3%	合 計	1,353,293	1,254,091	92.7%

決算額収支差引 △ 735,738 千円

資本的収支差引は、下記財源により補填した。

補 填 財 源	735,738 千円
ア. 消費税及び地方消費税資本的収支調整額	14,204 千円
イ. 減債積立金取崩額	316,053 千円
ウ. 損益勘定留保資金	405,481 千円

(3) 財 産 の 状 況 (下水道事業会計)

税 抜 (単位:千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
固 定 資 産	95.9%	固 定 負 債	15.3%
土地・建物・投資等	30,068,023		4,810,193
		企業債	4,735,114
		引当金	75,079
流 動 資 産	4.1%	流 動 負 債	3.3%
	1,287,208		1,031,031
現金預金	1,231,237	企業債	656,546
未収金	55,971	他会計借入金	200,000
		未払金	153,157
		引当金	18,288
		その他流動負債	3,040
		繰 延 収 益	27.2%
			8,518,004
		資 本 金	34.7%
			10,874,145
		剰 余 金	19.5%
			6,121,858
		資本剰余金	5,413,133
		利益剰余金	708,725
合 計	100.0%		100.0%
	31,355,231		31,355,231
		合 計	

(令和5年3月31日現在)

2 令和5年度下水道事業会計上半期の状況

(1) 収入と支出の執行状況(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで) (税込)

ア 収益的収入及び支出(現有各施設の維持管理に必要な収入・支出) (単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	執行額	執行率	科 目	予算額	執行額	執行率
下水道使用料	1,189,699	596,665	50.2%	人 件 費	60,360	18,559	30.7%
一般会計からの補助金	362,011	362,011	100.0%	委 託 料	485,717	170,441	35.1%
長期前受金戻入	390,044	0	0.0%	手 数 料	41,474	8,284	20.0%
一般会計からの負担金	31,764	0	0.0%	修 繕 費	67,812	5,683	8.4%
その他収入	5,761	56,223	975.9%	補助交付金	1,540	200	13.0%
				減価償却費	858,824	0	0.0%
				固定資産除却費	42,356	0	0.0%
				支 払 利 息	89,597	36,431	40.7%
				その他経費	29,246	2,440	8.3%
合 計	1,979,279	1,014,899	51.3%	合 計	1,676,926	242,039	14.4%

イ 資本的収入及び支出(各施設の新設、拡張及び改良等の支出額充当財源)(単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	予算額	執行額	執行率	科 目	予算額	執行額	執行率
企 業 債	548,900	0	0.0%	人 件 費	20,798	5,125	24.6%
一般会計からの負担金	12,907	0	0.0%	委 託 料	715,000	0	0.0%
一般会計からの出資金	200,000	200,000	100.0%	工 事 費	314,175	12,619	4.0%
国庫補助金	429,550	0	0.0%	負 担 金	26,611	117	0.4%
受益者負担金	2,412	405	16.8%	企業債償還金	660,357	270,726	41.0%
一般会計からの補助金	6,820	6,820	100.0%	長期借入金償還金	200,000	200,000	100.0%
その他収入	202	0	0.0%	その他経費	24,948	276	1.1%
合 計	1,200,791	207,225	17.3%	合 計	1,961,889	488,863	24.9%